

ノギス

IP66 ABS クーラントプルーフカーボンキャリパ

ユーザーズマニュアル

No. 99MAD023J
2021年7月1日 発行 (1)

安全に関するご注意

商品のご使用に当たっては、記載の仕様・機能・使用上の注意に従ってご使用ください。それ以外でご使用になりますと、安全性を損なうおそれがあります。

警告 取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- 電池はショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- 万一、電池のアルカリ性溶液が漏れて皮膚や衣服に付着した場合には、きれいな水で洗い流し、もし目に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 測定ワークが回転など動いているときは測定しないでください。機械などに巻き込まれ、けがをするリスクがあります。また、測定面の摩耗が早くなります。

■ 行為の禁止および行為の強制を示すマークや文字



行為の禁止の具体的な内容を示します。



行為の強制の具体的な内容を示します。

目次

1. タイプ、コード No.	2	9. 測定方法.....	7
2. 各部の名称.....	3	10. エラーと対策.....	9
3. 使用上の注意.....	3	11. 使用後の注意.....	10
4. 本商品の用途.....	3	12. 仕様.....	10
5. 使い方の基本.....	4	13. 標準付属品.....	10
6. 測定前の確認.....	4	14. オプション.....	11
7. 電池のセットと		15. データ出力仕様.....	11
ORIGIN (原点) 設定.....	4		
8. 比較測定 (INC) と			
絶対値測定 (ABS) の切り換え.....	6		

1. タイプ、コード No.

■ 標準タイプ



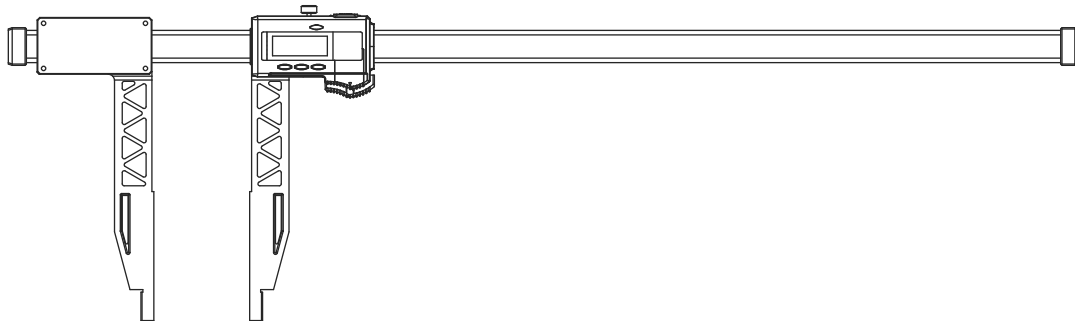
コード No.

552-302-10 552-303-10 552-304-10 552-305-10 552-306-10

552-155-10* 552-156-10*

*セラミックジョウ

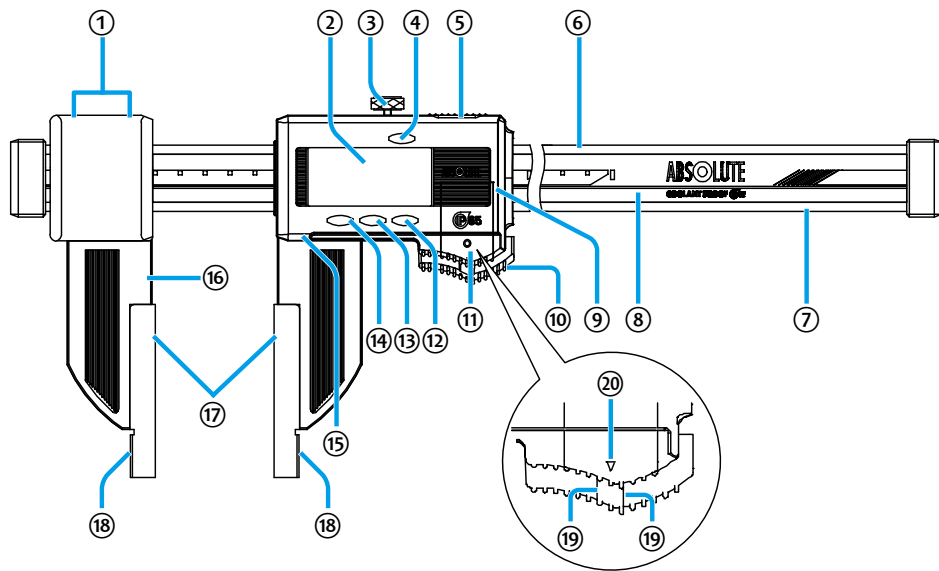
■ ロングジョウタイプ



コード No.

552-150-10 552-151-10 552-152-10 552-153-10 552-154-10

2. 各部の名称



- | | |
|--------------|--------------------------|
| ① ジョウ本尺ねじ | ⑪ 電池蓋 |
| ② LCD 表示部 | ⑫ ZERO/ABS (▶) スイッチ |
| ③ ジョウスライダーねじ | ⑬ PRESET/ORIGIN (▲) スイッチ |
| ④ HOLD スイッチ | ⑭ OFFSET スイッチ |
| ⑤ コネクターカバー | ⑮ ジョウスライダー |
| ⑥ 本尺 | ⑯ ジョウ本尺 |
| ⑦ 摺動面 (基準端面) | ⑰ 外側用測定面 |
| ⑧ スケール | ⑱ 内側用測定面 |
| ⑨ モジュール部 | ⑲ ユビカケ基準線 |
| ⑩ ユビカケ | ⑳ ユビカケ基準線用▼マーク |

3. 使用上の注意

注記

取り扱いを誤った場合、「物的損害の発生が想定される」内容を示します。



- 電気ペンやカッターなどは使用しないでください。
- 落下などの衝撃を与えないでください。
- スケール (本尺) に傷をつけないでください。



- 本商品は保護等級 IP66* に対応しています。保護性能を十分に発揮するためには、電池をセットするときや接続ケーブル (オプション) を接続するときに、電池蓋やコネクターカバーに付いているねじをしっかり締めてください。また、パッキンが正しく取り付けられていることを確認してください。(詳細は 7.1 電池のセット (4 ページ) および「表示値の外部出力」(9 ページ) 参照)

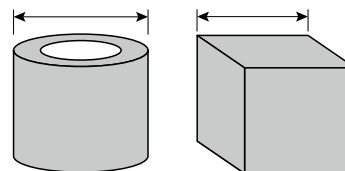
* 異物や水の侵入に対する保護規格 (詳細は IEC60529 規格参照)

- 水没する場所では使用しないでください。クーラント等の侵入を防ぎきれません。
- 使用温度、保存温度を守ってください。
- 使用後は防錆処理を行ってください。錆は故障の原因となります。
- 本商品を 3 か月以上使用しない場合は、本商品から電池を取り外して保管してください。電池の液漏れで本商品を破損するおそれがあります。

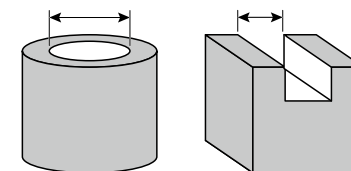
- 本商品を初めて使用するときは、油 (推奨別売品: ミクロール (No.207000)) を染み込ませた繊維の抜けにくい柔らかい布などで本商品に塗られている防錆油を拭き取り、付属の電池を本商品にセットしてください。
- 防錆油が乾燥して作動が重くなる場合があるので、布で摺動面 (基準端面) を拭き、さらに油を少し塗布してご使用ください。良好な作動が得られます。

4. 本商品の用途

外側測定



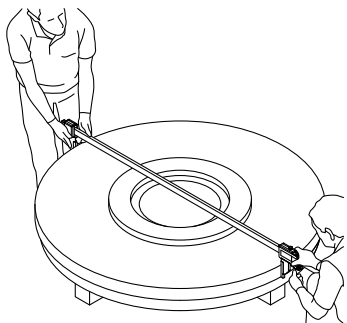
内側測定



5. 使い方の基本

■ ノギスの使い方

- ジョウ本尺を左手で握り、ジョウスライダーのユビカケに右手の親指をかけ、ジョウスライダーを左右に動かして測定します。
- サイズの大きな測定ワークを一人で測定すると本尺がたわみ、測定誤差が生じる場合があります。そのような場合は、測定者1名、補助者1名で測定することを推奨します。



Tips

- ユビカケに定圧機構を内蔵していますが、過度の測定力による測定エラーを回避することを目的とした補助的なものです。精度良く測定するためには、測定ワークとノギスの測定面がなじむ程度の最低限の測定力で測定をしてください。
- 測定方法の詳細は、 「9. 測定方法」(7ページ)を参照してください。

■ ジョウスライダーの固定

LCD表示部の測定値は、測定ワークを挟んだ状態（または密着させた状態）で読み取るのが基本です。しかし、測定箇所や測定時の姿勢などにより、その状態では読み取りが難しい場面もあります。このような場合、ジョウスライダーねじを締め、ノギスを測定ワークから慎重に外してから測定値を読み取ってください。

■ スイッチ操作（アイコンについて）



6. 測定前の確認

■ ジョウスライダーの動きを確認する

- 全測定範囲において、ジョウスライダーの動きにむらがなく、なめらかに動くか確認してください。
- ジョウスライダーが回転方向または摺動面（基準端面）に対して垂直方向にがたつきがないか確認してください。

■ ノギスの測定面間のすき間（摩耗）を確認する

ジョウを閉じて光にかざした際、測定面の間から光が漏れない、または均等に淡い光が見えることを確認してください。また、ジョウの先端が変形していないことを確認してください。

7. 電池のセットと ORIGIN（原点）設定

注記

取り扱いを誤った場合、「物的損害の発生が想定される」内容を示します。

- 電池は必ず SR44（酸化銀電池）をご使用ください。付属の電池は、機能や性能を確認するためのものです。所定の寿命を満足しない場合があります。
- 電池蓋に付いているねじの取り付け・取り外しは、必ず本商品に付属の 0 サイズプラスドライバー（No.05CZA619）を使用し、5～8N・cm程度のトルクで締め付けてください。規定以上のトルクで締め付けると、故障の原因となります。



消耗した電池の廃棄にあたっては、条例、規制などに従ってください。

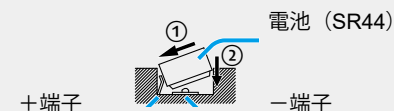
7.1 電池のセット

- 1 付属の 0 サイズプラスドライバーで取り付けねじ（M1.7 × 0.35 × 5、No. 06ACU912）を取り外す
- 2 電池蓋を真上に持ち上げて取り外す
- 3 電池（SR44）のプラス側を上にしてセットする

注記

取り扱いを誤った場合、「物的損害の発生が想定される」内容を示します。

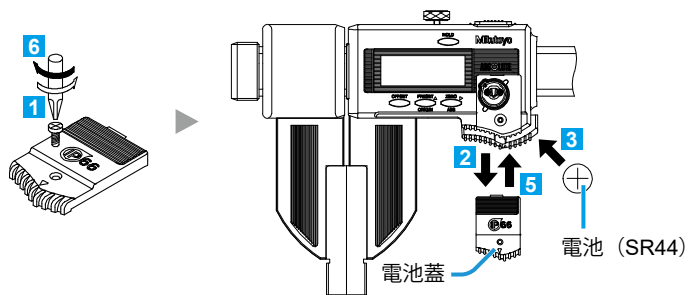
電池を垂直に押し込んでセットすると+端子が破損する恐れがあります。+端子を上押し上げる様に電池をスライドさせながら挿入してください。



- 4 電池蓋取り付け部にパッキンが正しく取り付けられていることを確認する
(パッキンは取り外さないでください)
- 5 電池蓋を元に戻す
- 6 電池蓋の端部を指で押さえ、電池蓋と取り付け部とにすき間ができないようにして、取り付けねじで締め付ける

» LCD 表示部が点灯する。

LCD 表示部に何も表示されない場合は、再度電池をセットし直してください。



引き続き 「7.2 ORIGIN (原点) 設定」(5 ページ) を行ってください。

● 電源の ON/OFF について (オートパワー ON/OFF 機能)

本商品は操作しない状態が約 20 分間続くと、LCD 表示部が自動的に消灯します。(原点設定は保持されたままとなります。) 手で電源を OFF にすることはできません。

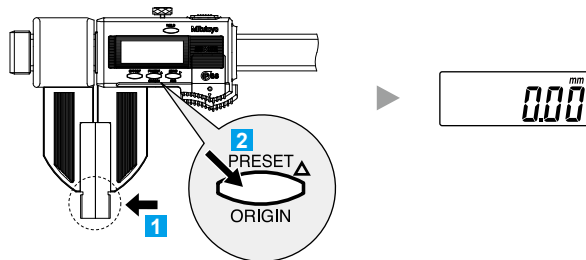
LCD 表示部を再度表示させる場合は、ジョウスライダを動かしてください。

7.2 ORIGIN (原点) 設定

ジョウ本尺の位置を原点に設定します。

7.2.1 原点をゼロ値で設定する

- 1 外側用測定面を閉じた状態にする
- 2 PRESET/ORIGIN (▲) スイッチを 1 秒以上押し続ける
» 「0.00」と表示され、ORIGIN (原点) が設定される。



Tips

ORIGIN (原点) が設定されるまでの間、ジョウスライダーを移動しないでください。正常にカウントしない場合があります。

7.2.2 原点を任意値で設定する (プリセット機能)

任意の値を原点として設定 (プリセット) します。ここでは例として、25 mm の値をプリセットします。

Tips

プリセットの設定を途中で止める場合は、OFFSET スイッチを 1 秒以上押し続けてください。設定操作を中止し、通常測定に戻ります。

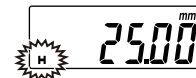
● ホールド機能を使用して登録する

- 1 表示値が 25 mm になるまでジョウスライダーを移動させる



- 2 HOLD スイッチを押す

» 「H」の表示が点灯し、表示値が固定される。



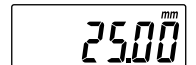
- 3 PRESET/ORIGIN (▲) スイッチを押す

» 固定値が表示され、「P」の表示が点滅する。



- 4 外側用測定面 (または内側用測定面) で別途準備した 25 mm の基準ブロックなどを挟んだあと (密着させたあと)、PRESET/ORIGIN (▲) スイッチを押す

» 「P」の表示が消灯しプリセット値の設定が完了する。



Tips

内側測定モードでプリセット設定を行うと、内側測定用の補正值 (20 mm) がプリセット値に加算されます。外側測定モードに切り換えると、加算された補正值は差し引かれます。

● キー操作で登録する

1 PRESET/ORIGIN (▲) スイッチを押す

» 以前のプリセット値が表示され、「P」の表示が点滅する。



Tips

表示されている値で原点を登録する場合は、手順 7 に進んでください。

2 ZERO/ABS (▶) スイッチを押す

» +または-の符号が点滅する。

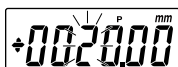
» PRESET/ORIGIN (▲) スイッチを押すと、符号の表示が切り換わる。



3 十の位の数字が点滅するまで ZERO/ABS (▶) スイッチを繰り返し押す



4 十の位の数字が「2」になるまで PRESET/ORIGIN (▲) スイッチを繰り返し押す



5 手順 3、4 と同様の操作で、一の位に「5」を表示させる

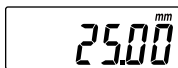


6 「P」の表示が点滅するまで ZERO/ABS (▶) スイッチを繰り返し押す



7 外側用測定面（または内側用測定面）で別途準備した 25 mm の基準ブロックなどを挟んだあと（密着させたあと）、PRESET/ORIGIN (▲) スイッチを押す

» 「P」の表示が消灯しプリセット値の設定が完了する。



Tips

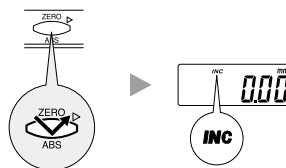
内側測定モードでプリセット設定を行うと、内側測定用の補正值（20 mm）がプリセット値に加算されます。外側測定モードに切り換えると、加算された補正值は差し引かれます。

8. 比較測定 (INC) と絶対値測定 (ABS) の切り換え

● 比較測定 (INC)

1 基準（ゼロ）としたい位置に測定面を合わせ、ZERO/ABS (▶) スイッチを短く押す（1秒未満）

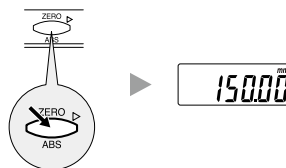
» 表示値がゼロセットされ、「INC」が表示される。（基準寸法からの測定が可能）



● 絶対値測定 (ABS)

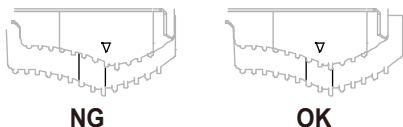
1 「INC」が表示されているとき、ZERO/ABS (▶) スイッチを長く押す（1秒以上）

» 「INC」が消灯する。（ORIGIN またはプリセットによる原点設定位置からの測定が可能）



9. 測定方法

測定の際はユビカケ基準線が電池蓋のユビカケ基準線用▼マークから外れない範囲で使用すると、安定した測定力で測定ができます。

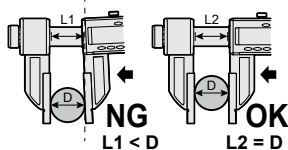


警告 取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

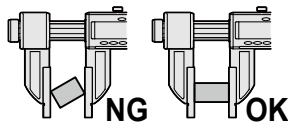
測定ワークが回転など動いているときは測定しないでください。機械などに巻き込まれ、けがをするリスクがあります。また、測定面の摩耗が早くなります。

■ 外側測定

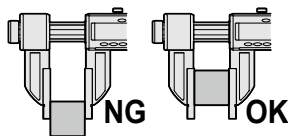
• 必要以上の測定力をかけないでください。測定力が強すぎるとジョウスライダーが傾き、測定誤差を生じます。



• 測定ワークを斜めに挟まないでください。傾きが生じると測定誤差を生じます。



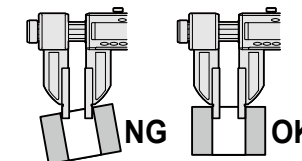
• 測定ワークは、摺動面（基準端面）にできるだけ近いところで挟んでください。外側用測定面の先端付近で挟むと測定誤差が拡大しやすくなります。



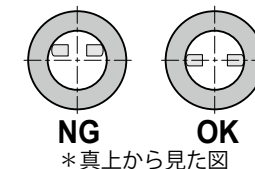
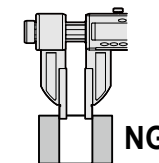
- 1 適正で均一な測定力で、測定ワークを外側用測定面で挟む
- 2 測定ワークを挟んだままの姿勢で、測定値を読み取る

■ 内側測定

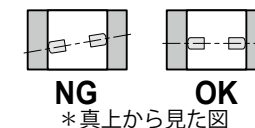
• 内側用測定面は、測定ワークにできるだけ正しい姿勢で、深く差し込んでください。




• 内径の測定時は、測定面を測定ワークに密着させ、表示値が最大になった時（測定面を結ぶ直線が断面の中心を通るようになった時点）の値を読み取ってください。

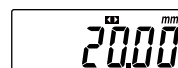


• 溝幅の測定時は、測定面を測定ワークに密着させ、表示値が最小になった時（測定面を結ぶ直線が溝の内壁と直交するようになった時点）の値を読み取ってください。




1 OFFSET スイッチを押す

- »  が点灯し、内側測定モードに切り替わる。
- » 内側測定用の補正值（ジョウ先端の寸法）が 20.00 mm として加算表示される。



Tips

OFFSET スイッチを再度押すと、 が消灯し、外側測定モードに切り替わります。

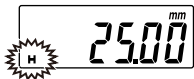
- 2 適正で均一な測定力で、内側用測定面を測定ワークの内側に密着させる
- 3 測定ワークに密着させたままの姿勢で、測定値を読み取る

■ 表示値の固定（ホールド）

ジョウスライダーを動かしても測定結果の表示値が変わらないように固定（ホールド）できます。

1 HOLD スイッチを押す

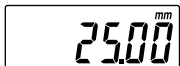
» 「H」の表示が点灯し、表示値が固定される。



2 測定値を読み取る

3 HOLD スイッチを再度押す

» 「H」の表示が消灯し、表示値の固定が解除される。



■ ジョウ本尺の移動（ロングジョウタイプを除く）

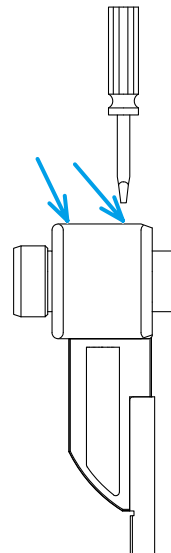
測定状況に応じてジョウ本尺を移動し、任意の位置から測定が行えます。

Tips

- ロングジョウタイプのジョウ本尺は固定され移動できません。
- ロングジョウタイプのジョウ本尺ねじは絶対に緩めないでください。緩めると測定面に隙間が生じる恐れがあります。
- ジョウ本尺の移動後は原点を設定してください。（詳細は 図「7.2 ORIGIN（原点設定）」（5 ページ）参照）

● 測定長 600 mm 以下のタイプ

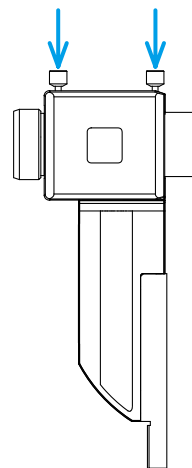
1 付属のマイナスドライバー（No.880083）で 2 本のジョウ本尺ねじを緩める



2 ジョウ本尺を任意の位置に移動したあと、ジョウ本尺ねじを締める

● 測定長 1000 mm 以上のタイプ

1 ジョウ本尺ねじを緩める



2 ジョウ本尺を任意の位置に移動したあと、ジョウ本尺ねじを締める

■ 表示値の外部出力

本商品と外部機器を接続ケーブル（オプション）で接続すると、表示値を弊社のデジマチック出力仕様で外部出力できます。（データ出力仕様は 15. データ出力仕様（11 ページ）参照）

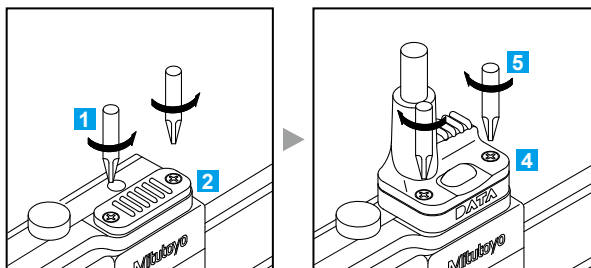
注記

取り扱いを誤った場合、「物的損害の発生が想定される」内容を示します。

- コネクタカバーに付いているねじの取り付け・取り外しは、必ず本商品に付属の 0 サイズプラスドライバー（No.05CZA619）を使用し、5～8N・cm 程度のトルクで締め付けてください。規定以上のトルクで締め付けると、故障の原因となります。
- 接続ケーブルを取り付ける際は、パッキンがはみ出さないようにしてください。パッキンが正しく取り付けられていないと、防水機能が低下し、液体の侵入などによる故障の原因となります。

● 接続ケーブル（オプション）の接続方法

- 1 付属の 0 サイズプラスドライバーでコネクタカバー取り付けねじ（M1.7 × 0.35 × 2.5、No.06ABY841）を取り外す
- 2 コネクタカバーを取り外す
- 3 コネクタカバー取り付け部にパッキンが正しく取り付けられていることを確認する（パッキンは取り外さないでください）
- 4 接続ケーブルを取り付ける
- 5 接続ケーブルの端部を指で押さえ、蓋と取り付け部とにすき間ができないようにして、接続ケーブル取り付けねじで締め付ける

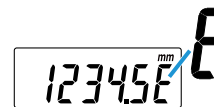


10. エラーと対策

■ 最小桁「E」表示

スケール表面が計数できないほど汚れた場合などに発生します。スケール表面を清掃してください。

（清掃方法は 11. 使用後の注意（10 ページ）参照）

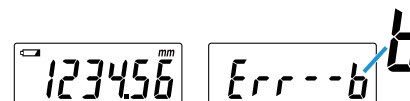


Tips

スケール表面を清掃しても「E」表示が消えない場合は、電池をセットし直してください。それでも表示が消えない場合は電池を取り外し、お求めの販売店または営業所までご連絡ください。

■ 電池/「Err-b」表示

電池の電圧が低下しています。直ちに電池を交換してください。（電池交換方法は 7.1 電池のセット（4 ページ）参照）



■ 「Err-oF」表示

表示値が ± 9999.99mm を超えたときに表示します。

ジョウスライダースを表示範囲内に戻せば再び計数を開始しますので、プリセットを行い正しく原点を設定し直してください。

（プリセット方法は 7.2.2 原点を任意値で設定する（プリセット機能）（5 ページ）参照）



■ 6桁すべて同じ数字、または「H」が点滅した場合

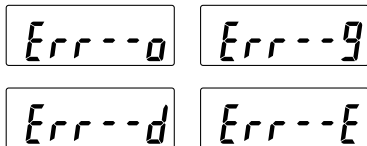
電池をいったん取り外して、入れ直してください。

（電池のセット方法は 7.1 電池のセット（4 ページ）参照）



■ その他のエラー

図のようなエラーが出た場合は、再度 ORIGIN（原点）設定を行ってください。
 (ORIGIN (原点) の設定方法は 図「7.2 ORIGIN (原点) 設定」(5 ページ) 参照)



11. 使用後の注意

- 測定面、基準面、摺動面（基準端面）などの汚れは、乾いた、またはアルコールを少量含ませた繊維の抜けない柔らかい布で拭き取ります。
- 防錆処理を行ってください。錆は故障の原因となります。
- 保管は、高温、低温、多湿になる場所、直射日光のあたる場所を避けてください。
- 外側用測定面を 0.2 mm ～ 2 mm 程度開き、ジョウスライダージェットは締めないで保管してください。

12. 仕様

■ 共通仕様

最小表示量	0.01 mm
最大応答速度	制限なし（速度によるミスカウントはありません）
電源	SR44（酸化銀ボタン電池）1 個
電池寿命	連続使用：約 5,000 時間 通常使用：約 1 年 * 電池寿命は、使用回数や使い方により異なります。 上記数値は目安としてお考えください。通常使用は、 1 日 5 時間程度の使用を想定した場合の算出値です。
使用温度	0 °C ～ 40 °C
保存温度	-10 °C ～ 60 °C
データ出力	デジマチック出力

■ 個別仕様

● 標準タイプ

コード No.	552-302-10 552-155-10	552-303-10 552-156-10	552-304-10	552-305-1055	552-306-1055
符号	CFC-45G CFC-45GC	CFC-60G CFC-60GC	CFC-100G	CFC-150G	CFC-200G
測定範囲（外側）	0 mm ～ 450 mm	0 mm ～ 600 mm	0 mm ～ 1000 mm	0 mm ～ 1500 mm	0 mm ～ 2000 mm
測定範囲（内側）	20.1 mm ～ 470 mm	20.1 mm ～ 620 mm	20.1 mm ～ 1020 mm	20.1 mm ～ 1520 mm	20.1 mm ～ 2020 mm

指示値の最大許容誤差： 図「MPE (EMPE, SMPE)」参照

● ロングジョウタイプ

コード No.	552-150-10	552-151-10	552-152-10	552-153-10	552-154-10
符号	CFC-45GL	CFC-60GL	CFC-100GL	CFC-150GL	CFC-200GL
測定範囲	標準タイプと共通				

指示値の最大許容誤差： 図「MPE (EMPE, SMPE)」参照

13. 標準付属品

- 0 サイズプラスドライバー（No. 05CZA619）1 本
- マイナスドライバー（No. 880083）1 本
（コード No. 552-302-10/552-303-10/552-155-10/552-156-10 の商品のみ）
- 保証書 1 部
- 電池（No. 938882）1 個
- 取扱説明書（No. 99MAD023M）1 部

14. オプション

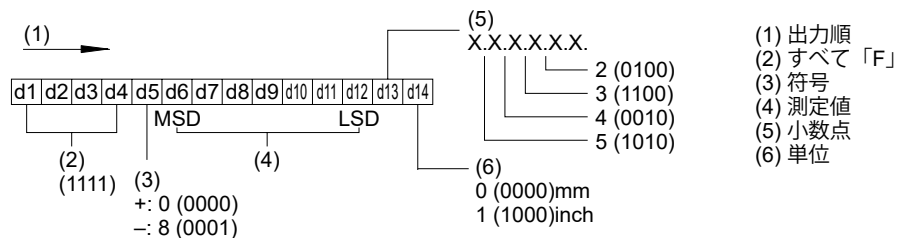
接続ケーブル
(出力スイッチ付き) *

No. 05CZA624 (1 m)、No. 05CZA625 (2 m)

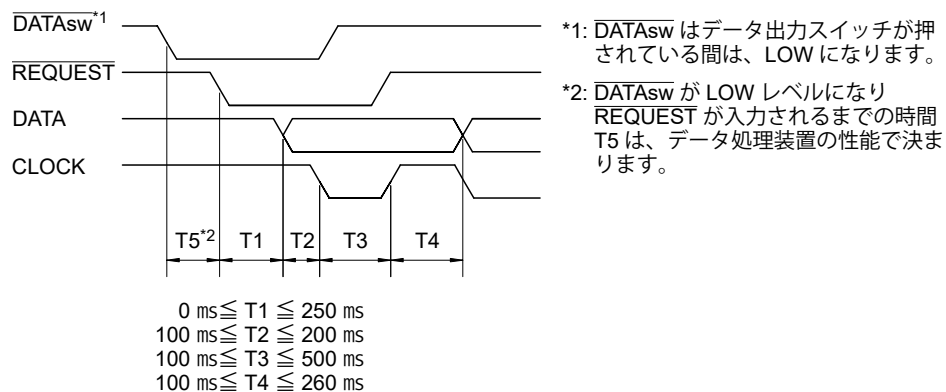
* 接続可能機器例：DP-1VA LOGGER (統計演算機能付きプリンター)

15. データ出力仕様

■ データフォーマット



■ タイミングチャート



©2020 Mitutoyo Corporation. All rights reserved.

株式会社 ミットヨ

神奈川県川崎市高津区坂戸 1-20-1 〒 213-8533

ホームページ: <https://www.mitutoyo.co.jp>

Printed in Japan

No. 99MAD023J

MPE (EMPE, SMPE)

552 Sereis

0.01 mm: 552-150-10, 552-151-10, 552-152-10, 552-153-10, 552-154-10

*L (mm)	EMPE (mm)	SMPE (mm)
0 ≤ L ≤ 800	±0.06	±0.06
800 < L ≤ 1200	±0.07	±0.07
1200 < L ≤ 1500	±0.11	±0.01
1500 < L ≤ 1700	±0.12	±0.12
1700 < L ≤ 2000	±0.14	±0.14

0.01 mm / 0.0005 in: 552-160-10, 552-161-10, 552-162-10, 552-163-10, 552-164-10

*L (mm)	EMPE (mm)	SMPE (mm)
0 ≤ L ≤ 800	±0.06	±0.06
800 < L ≤ 1200	±0.07	±0.07
1200 < L ≤ 1500	±0.11	±0.01
1500 < L ≤ 1700	±0.12	±0.12
1700 < L ≤ 2000	±0.14	±0.14

*L (inch)	EMPE (inch)	SMPE (inch)
0 ≤ L ≤ 24	±0.0025	±0.0025
24 < L ≤ 40	±0.0030	±0.0030
40 < L ≤ 48	±0.0040	±0.0040
48 < L ≤ 60	±0.0045	±0.0045
60 < L ≤ 68	±0.0050	±0.0050
68 < L ≤ 80	±0.0055	±0.0055

0.01 mm: 552-302-20, 552-303-20, 552-314-20, 552-315-20, 552-316-20

*L (mm)	EMPE (mm)	SMPE (mm)
0 ≤ L ≤ 800	±0.04	±0.04
800 < L ≤ 1000	±0.05	±0.05
1000 < L ≤ 1300	±0.07	±0.07
1300 < L ≤ 1500	±0.09	±0.09
1500 < L ≤ 1700	±0.10	±0.10
1700 < L ≤ 2000	±0.12	±0.12

0.01 mm / 0.0005 in: 552-312-20, 552-313-20, 552-314-20, 552-315-20, 552-316-20

*L (mm)	EMPE (mm)	SMPE (mm)
0 ≤ L ≤ 800	±0.04	±0.04
800 < L ≤ 1000	±0.05	±0.05
1000 < L ≤ 1300	±0.07	±0.07
1300 < L ≤ 1500	±0.09	±0.09
1500 < L ≤ 1700	±0.10	±0.10
1700 < L ≤ 2000	±0.12	±0.12

*L (inch)	EMPE (inch)	SMPE (inch)
0 < L ≤ 40	±0.0020	±0.0020
40 < L ≤ 52	±0.0030	±0.0030
52 < L ≤ 60	±0.0040	±0.0040
60 < L ≤ 68	±0.0045	±0.0045
68 < L ≤ 80	±0.0050	±0.0050

0.01 mm: 552-155-10, 552-156-10

*L (mm)	EMPE (mm)	SMPE (mm)
0 ≤ L ≤ 600	±0.04	±0.04

0.01 mm / 0.0005 in: 552-165-10, 552-166-10

*L (mm)	EMPE (mm)	SMPE (mm)
0 ≤ L ≤ 600	±0.04	±0.04

*L (inch)	EMPE (inch)	SMPE (inch)
0 ≤ L ≤ 24	±0.0020	±0.0020

*L

jp 測定長さ
 en Measured length
 de Messlänge
 es Longitud medida
 fr Longueur mesurée
 nl Gemeten lengte
 it Lunghezza misurata

sv Mätlängd
 pt Comprimento medido
 cs Měřená délka
 pl Długość pomiaru
 ru Длина измерения
 tr Ölçme uzunluğu
 ko 측정 된 길이

zh-CN 实测长度
 zh-TW 實測長度
 th ความยาวที่วัดได้
 vi Chiều dài đo được
 ms Panjang yang diukur
 id Panjang terukur